

## 宝勢丸鰹漁業生産組合での修学旅行生受入

令和元年6月13日 大島支庁林務水産課水産係

宝勢丸鰹漁業生産組合がブルー・ツーリズムとして、広島市の私立修道高校の男子生徒22名を受け入れました。

同組合は、毎年県外高校の修学旅行生を受け入れており、今回生徒達には、カツオ・シビの捌き、かつお節削りとその袋詰めを体験していただきました。

生徒達は強い関心を持って取り組み、初めての魚捌きも徳田謙治指導漁業士に手助けをもらいながら、手際よく行っていたのが印象的でした。

昼食には、自分達で捌いたカツオとシビの刺身に加えて、腹皮、すまし汁が提供され、生徒達は何度もおかわりをしていました。

今回の体験を機に、水産業に興味を持ってくれること、再び奄美大島に訪れてくれることを期待します。

